

令和５年度第２回筑紫野市地域公共交通会議 会議録（要点記録）

期 日 令和５年１１月１７日（金）

時 間 １０：００～１１：１０

場 所 筑紫野市役所 第４０３会議室

出席委員

平嶋義伸委員、中島将吉委員、今雪寛治委員、森岡壯一委員（代理）、山元光長委員、島村紀生委員、溝田喜彦委員、高瀬徹二委員、尋木陽子委員（代理）、菊武秀明委員、木場和俊委員、前島雅一委員、井料達己委員、大枝良直委員、田辺好徳委員（代理）、嘉村千穂委員、野田一洋委員（名簿掲載順）以上１７人

欠席委員

鳥谷昇司委員、辻美貴善委員（名簿掲載順）以上２人

事務局

企画政策部 宗貞企画政策部長

企画政策課 中尾企画政策課長、齊田企画政策担当係長、村上企画政策担当主任

復建調査設計株式会社 金沢上席主任エンジニア、土佐技師 以上６人

傍聴人 ０人

【会議概要】

会 長

１．開会

事務局の司会により開会

２．会長あいさつ

皆さん、おはようございます。会長を務めます、筑紫野市副市長の平嶋義伸でございます。委員の皆様方にはご多用中にも関わらずご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の会議では、御笠自治会バスの運行継続に関する協議、地域公共交通計画の策定に向けて実施した各種調査の報告、並びにその結果を踏まえた課題整理と基本方針の設定について、協議していただくこととしております。

昨今、運転手不足による路線バスの撤退等に関する報道が世間を騒がせていることに加え、労働基準法の改正により、２０２４年４月から運転手の時間外労働の上限規制が適用されるに伴う物流や交通サービス低下の懸念、いわゆる「２０２４年問題」がすぐそこまで迫っています。

これらの事態は、本市においても決して例外ではなく、より安全で持続可能な地域公共交通を確保するためには、今年度中に策定する地域公共交通計画をより実効性のあるものとする必要がございます。

委員の皆様におかれましては、これらの現状と、のち程ご説明する調査結果等を踏まえ、今後の取り組みなどについて活発な議論を、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事

議案第1号 会議の運営について（協議）

事務局から以下の内容を説明

- ・ 会議の公開・非公開については、公開する。公開する部分は議事のみ。
- ・ 傍聴人の定数については、20人を限度とする。
- ・ 会議録の調製方法は録音機収録による要点記録とし、市公式ホームページにおいて公表する。
- ・ 会議録には職名を記載し、委員以外の個人情報は伏字とする。
- ・ 委員名簿は市公式ホームページにおいて公開する。
- ・ 傍聴人には全ての資料を配布し、次第以外の資料は傍聴終了後に回収する。

会 長

事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。

委員一同

特になし。

会 長

異議がないようなので、議案第1号について、承認とする。

議題第2号 御笠自治会バスの運行継続について（協議）

事務局から内容説明

会 長

事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。

委員一同

特になし。

会 長

異議がないようなので、議案第2号について、承認とする。

議案第3号 地域公共交通計画の基本方針・取組の方向性について（協議）

「1. 地域特性・現状の把握」

事務局から内容説明

会 長

事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。

委員一同

特になし。

会 長	異議がないようなので、議案第 3 号の「1. 地域特性・現状の把握」について、承認とする。
	「2. 利用実態等の調査結果」 事務局から内容説明
会 長	事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。
委員一同	特になし。
会 長	異議がないようなので、議案第 3 号の「2. 利用実態等の調査結果」について、承認とする。
	「3. 関係者等ヒアリング調査結果」 事務局から内容説明
会 長	事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。
委員一同	特になし。
会 長	異議がないようなので、議案第 3 号の「3. 関係者等ヒアリング調査結果」について、承認とする。
	「4. 地区別懇談会の結果」 事務局から内容説明
会 長	事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。
委 員	特になし。
会 長	異議がないようなので、議案第 3 号の「4. 地区別懇談会の結果」について、承認とする。
	「5. 地域公共交通に関する課題に整理について」 事務局から内容説明
会 長	事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。
委 員	特になし。

会 長	異議がないようなので、議案第３号の「５．地域公共交通に関する課題に整理について」について、承認とする。 「６．基本方針・目標の設定について」 事務局から内容説明
会 長	事務局からの説明に対し、意見や質問はあるか。
委 員	方向性の③と④に記載があるとおり、持続可能性を備えた地域公共交通の確保を目指して、行政等と連携して対応したい。 現在、補助を受けて運行している路線もあるが、その中には８０人乗りの大型バスで運行するものの、数人しか乗っていない路線もある。そのため、ニーズに応じたダウンサイジングやデマンド交通への転換も適用性も高いと思うため、今後も連携して協議を進めたい。 地区によってニーズは異なるため、地域特性に応じて、適切な車両やサービスを検討してほしい。様々な自治体の地域公共交通計画の策定に携わっているため、特にデマンド交通については、メリットとデメリットを知っている。方向性から、より具体的に目標や施策を設定してほしい。
事務局	今回はアンケート等から課題を整理して、取組の方向性を提示したところである。 交通事業者からは、人手不足や労働環境についての声も聴いており、方向性④にもあるとおり、過度な負担が伴わない、持続可能な地域公共交通を考えていきたい。今後は、方向性から具体的な取組を検討するが、地域の方々や事業者と相談しながら進めることを考えているため、協力をお願いしたい。
委 員	バス会社では、ＧＰＳを活用したサービスを提供しているのか。
委 員	ＧＰＳを活用し、バスの運行位置情報や遅延情報を提供している。
委 員	我々でも閲覧が可能なのか。
委 員	遅延情報などは、ホームページで閲覧が可能である。
委 員	バスは、手を挙げれば、どこでも乗降できるようにできるのか。
委 員	フリー乗降はある。ただし、乗降できる場所は限られるうえ、安全面からはバス停での乗降が望ましい。
委 員	方向性④にて、ドライバー不足を考慮するとあるが、運転手の確保について、具体的な取組支援等は検討されているのか。大分では移住とあわせた支援を実施している。そ

の他、２種免許取得支援なども考えられる。

事務局 交通事業者へのヒアリング調査からもドライバー不足が喫緊の課題と聞いている。市としても、原油価格の高騰に対する補助も含め、できる範囲でのことは考えていきたい。

委 員 西鉄バスでも来年の１月２０日から、２５年ぶりに運賃改定を行い、初乗りが１７０円から２１０円になる。受益者負担は、事業維持の観点で必要なこと。他の自治体のコミュニティバスでは、運賃が１００円と設定されているところもあるが、受益者負担の考えも尊重して欲しい。

委 員 ９ページの交通事業者ヒアリング調査の問題点を見ると、事業者の実態が悲観的に見える。

事務局 委員のご意見にもあったとおり、２０２４年問題があるなかで、運転手不足は事業者にとって深刻な問題となっている。

委 員 現在でも減便をしながら運行をしているが、乗務員不足が最大の深刻な問題となっている。他の自治体では、補助金を満額でもらっても、運転手がいらないため、運行ができない状況も発生している。

会 長 いくつか意見はあったが、議案のとおりとしてよいか。

委員一同 特になし。

会 長 異議がないようなので、議案第３号の「６．基本方針・目標の設定について」について、承認とする。

事務局 ５．閉会
１１時００分閉会

以 上